

金沢大学法学類月報

第44号 2017年7月25日発行

編集・発行：金沢大学法学類広報委員会
協力：金沢法友会法学類広報プロジェクト



暑中お見舞い申し上げます。法学類月報第44号では、法科大学院の舟橋先生のエッセイ、新しい大学院入試のお知らせ、法学部OB坂口辰彦さんからのご寄稿をお届けします。



◆◆教員エッセイ◆◆ 第11回 舟橋秀明先生（法務研究科・民法）

法科大学院で民法を担当しております、舟橋秀明です。法学類生の皆さんとは、外書講読かサークル活動（法律相談所）でしかお会いする機会がないので、「この人、誰？」という印象を持った方が多いでしょう。

実は、昨年の10月以来、在外研究ということでフランス東部の街ストラスブールに来ておまして、「アルザス＝モゼル地方法研究所」が受入機関となり、特に不動産登記制度や公証人制度について研究しています。ストラスブール大学法学部の授業にも出席させてもらい、授業の雰囲気やライブで体験し、数人の学生に直接お話を聞かせてもらったりもしました。どの授業でも、先生は教卓に座り、講義レジュメを脇に見ながらガンガンしゃべりまくり、板書は一切ありません（一度だけ複雑な権利関係を板書したことがありましたが、解読不能）。学生のほとんどがパソコンを持ち込み、口述筆記に一心不乱、タイピング音がうるさいくらいでした。

9月中旬から始まった授業も4月末で終了し、5月初めには期末試験があり、その後は夏のヴァカンスになります。私は、ヴァカンスで閑散とした大学図書館でこの文章を書いています。これまでフランスでの生活をエンジョイしてきましたが、今年の10月からまた金沢に復帰予定です。フランスに興味のある学生がいましたら、今度、ゆっくりお話ししましょう。



美しいストラスブールの街並み

大学院（法学・政治学専攻）入試 「台湾協定校特別選抜」を実施します

博士前期課程の法学・政治学専攻では、2018年度選抜（入試）より、新たに「台湾協定校特別選抜」を行うことになりました。

この制度が実現した背景には、大きく二つの要因があります。第一に、金沢大学は台湾の主要な大学と協定を結んでおり、とくに私たち法学系の組織は、政治



大学、輔仁大学及び成功大学と度々交流があったことです。これまで多くの台湾人留学生に来ていただきましたが、彼らは総じて優秀であり、日本語力も飛躍的に向上させてきた実績があります。第二に、台湾の法体系は日本と同じく大陸法系（独・仏法の影響が大きい法体系）の一種であり、歴史的な背景から日本とよく似た法律を有しているため、日本法を研究し、台湾法と比較をすることは、台湾法の研究や実務にとっても有意義であると思われるからです。

さらに今回の特別選抜には、来日する必要のない受験システムを採用しました。選抜は、書類（推薦書、研究計画書、成績証明書および語学能力証明書）と SKYPE（インターネットによるビデオ通話）面接に基づいて行います。

台湾協定校特別選抜により、本学と台湾との関係がより緊密なものとなり、それが日本と台湾における法学・政治学研究の深化につながることを期待しています。

（法学・政治学専攻長 足立英彦）

複雑で生きにくい今を生きていくために

私は1989年に卒業し、金沢大学生協同組合に就職しました。城内キャンパスで学び、角間キャンパスで働く法学部OBとして皆さんへのメッセージです。

まずは、徹底的に学ぶこと。知識の蓄積はもちろん、自分で「理解する」「考える」ことに力を入れる。考える力が生きるうえでとても大切です。そして、頭だけではなく、行動（経験）を！なんでもいいです。苦手、未経験なことにチャレンジ。情報過多社会の中、情報だけで「楽勝！」と思ひ込み、実際にやってみると思うようにならない。「失敗したくないからやりたくない」という話も耳にします。恐れずトライです。大丈夫。何とかなるものです。きっと「あの時トライしておいてよかったな」と思う時が来ます。私も当時は浪人、留年、職員になってからも上司や先生方に一杯叱られました。それが今の宝です。ハードルをいきなり上げず、少しずつトライ。公務員試験では、皆さん面接で悩みますが、それは行動、経験が足りないからです。様々な階層の方々とのコミュニケーションをお勧めします。

現代は私が過ごした大学時代とは比べ物にならないくらい複雑で生きにくい時代です。そんなストレスだらけの今を学生として生きる皆さんに、以下の本をお勧めします。私の座右の書の一部です。これからの人生の役に立ててください。学内にいますのでいつでもご相談ください。

「嫌われる勇氣」、「幸せになる勇氣」岸見一郎、古賀史健著 ダイアモンド社

「世界のエリートがやっている最高の休息法」久賀谷亮著 ダイアモンド社

坂口 辰彦（89年卒業 金沢大学生協同組合 専務理事）



法学類HP
へGO!



- 法学類の学生、卒業生、教員に関するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp//category/brochure/geppo>
また、メールでの定期配信（無料）をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部 学生課 (n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp)までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。